

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第5区分
【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公表番号】特表2003-513858(P2003-513858A)

【公表日】平成15年4月15日(2003.4.15)

【出願番号】特願2001-536431(P2001-536431)

【国際特許分類】

B 64 G 1/38 (2006.01)

【F I】

B 64 G 1/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月11日(2007.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

搭載機器への音響振動の伝達を最小限にする音響振動アイソレーション装置であって、前記搭載機器を包囲するシユラウドと、

前記シユラウドと前記搭載機器の周りのスペースを真空にするために前記シユラウドに接続された真空装置と、を有する音響振動アイソレーション装置。

【請求項2】

A . 搭載機器の周りにシユラウドを接続する工程と、

B . 音響振動が前記搭載機器に伝達されないように前記搭載機器の周りの前記シユラウドの前記内側を真空にする工程と、を有する音響振動が搭載機器を損傷することを防止する方法。

【請求項3】

衝撃波を生じる音速を超える速度で大気圏を通って打ち上げられる発射飛行体に接続された搭載機器を損傷する振動を防止する方法であって、

A . 前記発射飛行体から前記搭載機器に伝達される機械的な振動を抑えるために前記搭載機器と前記発射飛行体との間に振動アイソレータを配置する工程と、

B . 前記搭載機器の周りに密封されたシユラウドを配置する工程と、

C . 前記発射飛行体が大気圏を通過するときのバフェッティングから生じる音響振動を抑え、音速を超える衝撃波による音響振動を抑えるために少なくとも音速を通過する前に真空をつくるために前記搭載機器の周りの前記シユラウドのガスを取り除く工程と、を有する方法。